

## ワークショップ(第4回)概要

○日時 2023年1月30日(月) 15時00分から17時00分※<sup>1</sup>

2023年2月6日(月) 14時00分から16時00分

2023年2月8日(水) 14時00分から16時00分

2023年2月16日(木) 14時00分から16時00分※<sup>2</sup>

○場所 オンライン ※<sup>1</sup> 視覚障がい者2名は受託事業者会議室 ※<sup>2</sup> 視覚障がい者1名は京都府視覚障がい者協会

○議題 ・これまでの経過

・トイレプラン案の説明

・カームダウン・クールダウン

○出席者

エキスパート	石塚裕子			
お困りごと当事者 18人	車いす使用者	4人	発達障がい者(親と参加)	0人
	視覚障がい者	4人	発達障がい者の親	1人
	聴覚障がい者	2人	LGBTQ+	1人
	精神障がい者	1人	医療的ケア児(親と参加)	2人
	知的障がい者(親と参加)	1人	子育て世帯	1人
	知的障がい者の親	1人		
作り手企業	TOTO株式会社			
業務受託者	株式会社東畑建築事務所			
傍聴	公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 大阪府都市整備部住宅建築局建築環境課			

○配慮事項

資料のワードテキスト文書(事前送付)、単独来場の視覚障がい者を駅から誘導、要約筆記

○議事要旨

● これまでの経過

スケジュール表でこれまでの経過を確認した。

● トイレプラン案の説明

前回のワークショップで各班が作成したトイレプラン案を振り返り、それらの案の考えや込められた思いをもとにトイレの方向性を「ノーマライゼーションを実現するトイレの提案」とすることを確認した。その後、事務局から誰もが分け隔てなく使えるトイレプラン案を提示した。当事者からは、並び方やトイレブースの空き状況等の案内・誘導について多くの意見があった。

● 館内の移動

展示体験ルートについて、途中で階段や段差がなく、すべての来館者が一緒に同じルートで体験できることを確認した。また、ライドをカート型からリフトに変更したことや、スロープの幅員、来館者の避難計画について説明を行った。

● カームダウン・クールダウン

1階と2階のそれぞれの配置と内装や設備の設計方針について説明し、今後ワークショップで詳細を検討することを伝えた。

各議題での当事者からの質問には、次回以降のワークショップで回答することとした。

# 大阪ヘルスケアパビリオン

## ユニバーサルデザイン ワークショップ (建築)

2023年1月30日※1、2月6日、2月8日、2月16日※2  
(オンライン開催)

※1：視覚障がい者3名は委託事業者会議室にて対面開催

※2：京都府視覚障害者協会にて個別説明

一般社団法人2025年日本国際博覧会大阪パビリオン  
展示・建築グループ

# これまでの経過

confidential

テーマ		内容	2022 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023 1月	2月
建築	トイレ	テーマ、使いやすいトイレプラン	●			●		●					●	●
	移動	スロープ避難計画	●	ヒアリング		●	3月意見とりまとめ、建築図面等の状況報告						●	●
	カームダウン・クールダウン	部屋の扉・内装休憩スペース	●			●							●	●
展示	展示計画				●	方向性・予定								
運営	運営計画					●	方向性・予定							
	案内・誘導	事前案内、サイン、など	●				●	建築関連						

1. トイレプラン

2. 館内の移動

3. カームダウン・クールダウン

1. トイレプラン

2. 館内の移動

3. カームダウン・クールダウン

## ■みんなでトイレプラン作成チャレンジ (8月29日 TOTOにて)

以下のテーマとコンセプトに沿って、メンバーが3班に分かれ、トイレプランを福笑い方式で作成し、発表

### ○トイレのテーマ

誰もが使いやすい、ミライのトイレ

### ○トイレのコンセプト

トイレの既成概念を変える、チャレンジングで心に響くトイレ

みんなが自然に使える、壁・境界やバリアのないトイレ

人の気持ちに寄り添った案内と設備を設けたストレスフリーなトイレ

## プランの概要

- ・介護、介助、性的少数者などのことを配慮したオールジェンダートイレ
- ・全部個室で小便器なし（視覚障がい者もどこに入ってもOKとなる）

### 視覚障がい者のニーズ

- ・トイレの空きは探すしかない
- ・蝕知図は動線など線種が多くわかりにくい  
あまり触ることはない
- ・反時計回りで壁沿いにトイレ、手洗いと順番にあつたらわかりやすい

### 案内・コンシェルジュ

- ・外国語ができたり福祉系の資格を持つコンシェルジュを配置し、順番待ち列を捌いてもらえるなどしてもらえたらスムーズ
- ・音声案内も必要。反響してわかりにくいこともあり要検証

### 課題

- ・全部個室で、小便器なし。個室の清潔さを保つことが課題

大便器	5
簡易型	6
小便器	0
洗面	8
車いす	2
キッズ	1
授乳	2

### 車いすトイレの位置

- ・車いすトイレは入口に近い方がいい

### 便房

- ・視覚障がい者にとっては、便房は狭い方が使いやすい
- ・個室間の壁は防犯のため床から天井まで。防音対策にもなる

### 給湯室の機能

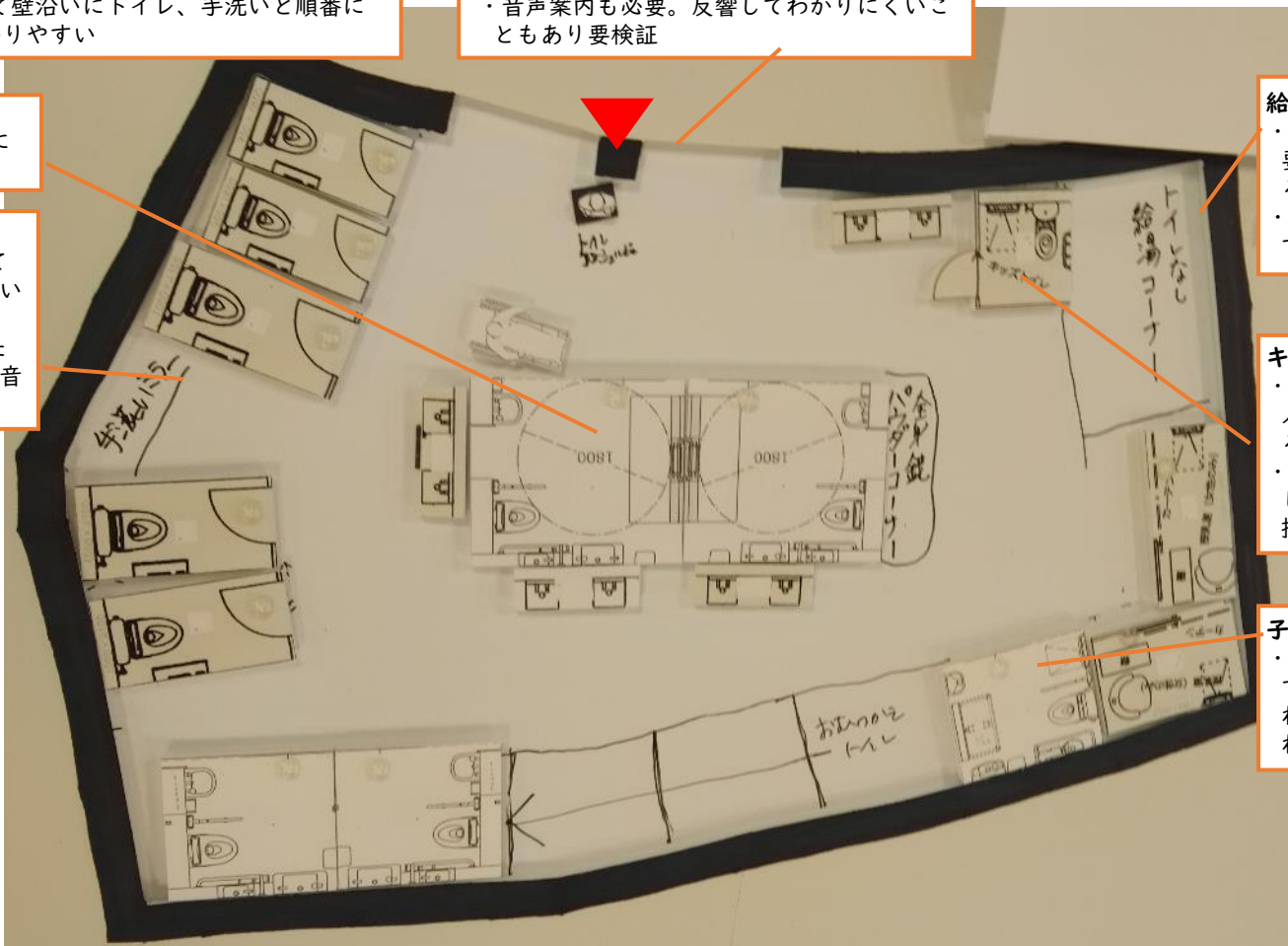
- ・医療的ケアで洗浄等が必要なので給湯室の機能があるとありがたい
- ・哺乳瓶などを洗ったりもできる

### キッズトイレ・授乳室

- ・キッズトイレや授乳室も入口に近い方がいい。動ける人が奥へ
- ・授乳室とおむつ替えは同じタイミングになるので近接させる

### 子供連れ対応

- ・大きめトイレを多く配置すると、子どもも一緒に入れるし、ベビーカーごと入れる



## プラン概要

- ・男女共用エリアと男女別エリアで構成。手洗いとキッズ関係は中央に配置。
- ・小便器は効率化のため設置。女性や宗教的な問題でオールジェンダーに抵抗がある人もいる。

### 案内（空き情報）

◎アプリ等で事前に空き情報がわかる様にする

### キッズトイレ

- ・キッズトイレは共用区画で入口近くに設置。
- （出入口の向きを車椅子使用者の通路と重ならないように気を付ける）

### おむつ交換、ミルク対応

- ・オムツ交換、ミルク作りのスペースは真ん中に設置し男女関係なく使用出来るようにする

### 男性用的小便器

- ・男性用小便器は効率化のためにも必要
- ・通路から見えない配慮が必要。

### 男性スペース

- ・健常男性のスペースを小さくし他の空間を充実させる

### 授乳室

- ・授乳室は女性のみ使用するため女性区画の中に設置

### 大型便房

- ・1800mmの円が内接出来る大型の多目的トイレを配置

### 男女共用トイレの便房

- ・簡易型も含め、便房数を多くとる
- ・通常個室も配置し、誰でも入れるトイレを多くとる

### 通路幅

- ・多目的空間の通路は車椅子同士のすれ違いが可能なように1800mm必要

### 女性スペース

- ・女性区画は混雑が予想されるので個室を多く確保する

●男女共用	
車いす	2
ブース	2
簡易型	2
キッズ	1
洗面	8
●男性	
ブース	2
小便器	4
●女性	
ブース	6
授乳	1

## プラン概要

- ・男女共用エリアと男女別エリアで構成。入口近くに男女共用、奥に男女別を配置。
- ・オールジェンダーはまだ抵抗がある人が多いので、男女別も残した方が。

●男女共用	
車いす	2
簡易型	2
ブース	2
●男性	
ブース	5
小便器	4
洗面	4
●女性	
ブース	8
授乳	1
洗面	6

### 案内

- ・外側にピクトサイン
- ・案内してくれる人（ガイド）

### ベンチ

- ・空きスペースにベンチほしい（視覚障がい者は内部は危ないので外に）

### 入口

- ・多様な人が使用しやすいように、入口はみんな同じ
- ・奥に行くほどグラデーションっぽく徐々に男女がわかれるイメージ
- ・ただし、視覚障がい者は入口からわかれている方がわかりやすいここに要配慮

### みんなトイレ

- ・共用部分に広めの一般便房必要  
→LGBTQ、異性介助、見た目障がいかわからない方への配慮
- ・LGBTQの方への配慮として共用部には手洗いはない方がいい。
- ・車いす便房は左右対称が必要

### おむつ交換

- ・おむつ替え台は男女とも必要なので共用部分へ
- ・匂い、見える等を避けるため壁等で仕切る

### キッズトイレ

- ・必要だけど1人で入らないので大型便房に入れては？（大人と子ども一緒＝大人(大)+子(大)+子ども(小))
- ・機能分散も必要。

- ・男女間に壁設置

### 男性小便器

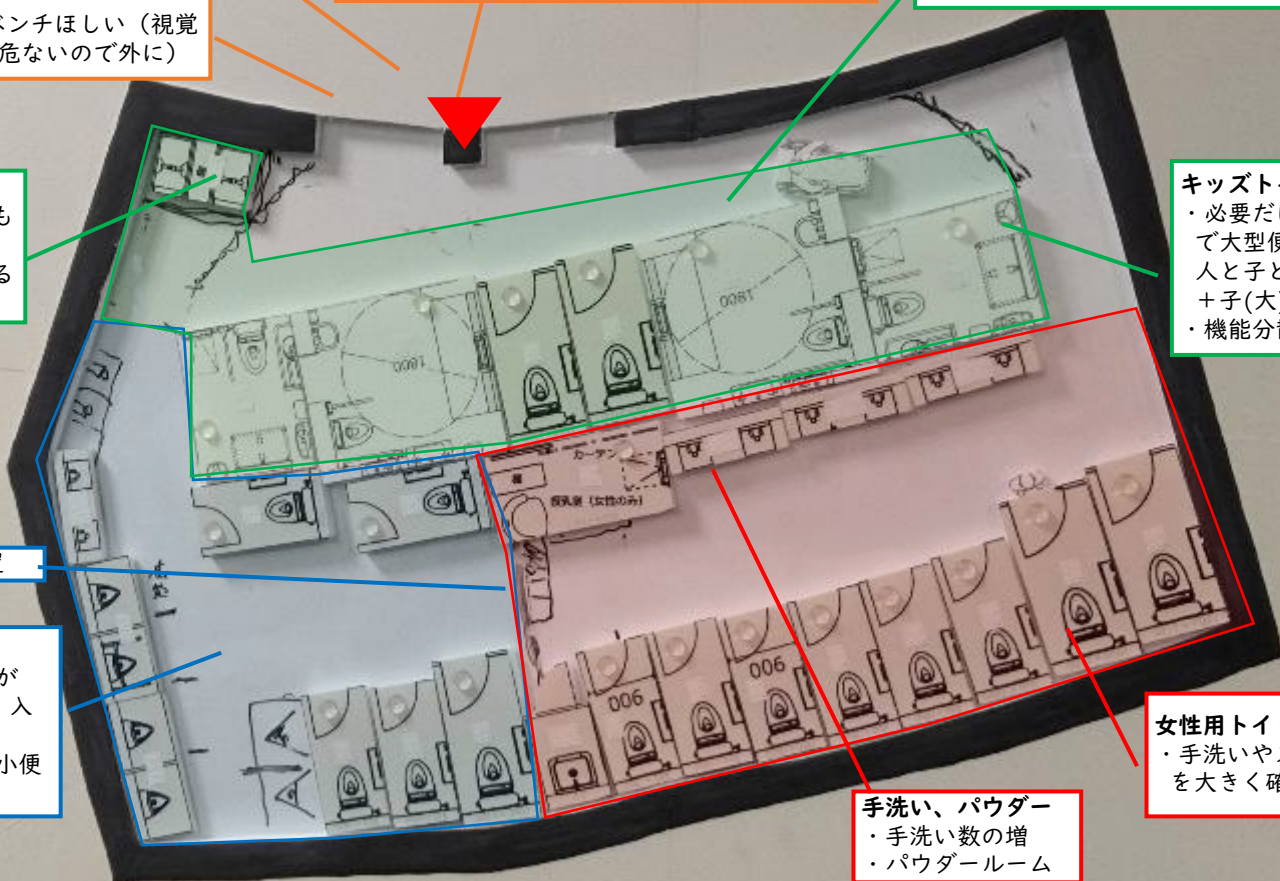
- ・小便器は必要（使用時間が短く混雑緩和につながる、入口に近い方がいい）
- ・プライバシーの観点から小便器の間に間仕切り

### 女性用トイレ

- ・手洗いやスペースを大きく確保

### 手洗い、パウダー

- ・手洗い数の増
- ・パウダールーム



## ■ みんなで作成したプランから浮かび上がるコト

- ・ 少数派も使いやすいように、ジェンダーフリーや機能分散の視点は欠かせない
- ・ 多数派である健常者に対して、これまでの生活経験から、男女別トイレや男性小便器の確保が必要との意識を持っている人が多い
- ・ 快適に利用するためには、要配慮者対応も含め多様なニーズがある

## 大阪ヘルスケアパビリンのトイレの方向性

### ノーマライゼーションを実現するトイレの提案

～マジョリティ（多数派）とマイノリティ（少数派）の意識を無くす～

- ・ 快適で使いやすい機能\*1を盛り込みつつ、要配慮者\*2はもちろん、健常者も含めすべての人が使いやすいトイレをめざす

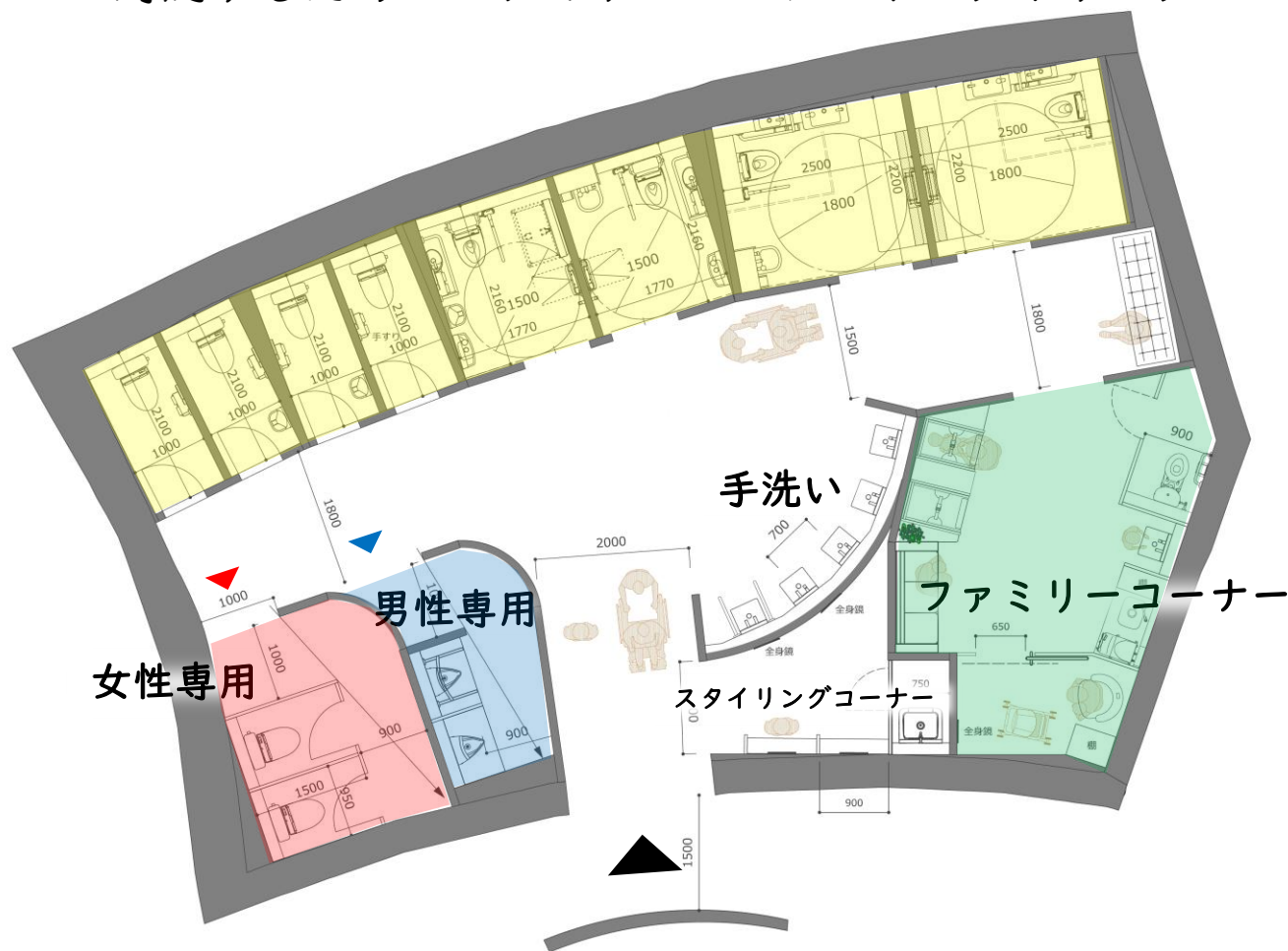
\*1 お困りごと対応（車いす対応、手摺り、オストメイト、ベビーケア、着替え、男女別など）、不安解消（防犯対策など）、わかりやすさ（シンプルな動線、音声案内、アプリ、触知図など）

\*2 介護や介助が必要な方、車いす利用者、高齢者、視覚・聴覚障がいのある方、知的、精神障がいのある方、性的少数者、子ども連れ、外国人

# トイレプラン (案)

confidential

誰もが分け隔てなく使えて、使いやすい「みんなトイレ」とし、  
どうしても男女別トイレでないとは抵抗が大きい人のための男女各専用スペースや、  
多様なニーズに対応するためのファミリーコーナーやスタイリングコーナーなどを追加



従来の男女別トイレもあえて設けることで、  
トイレに対する『意識変革』のきっかけに



トイレの既成概念を変える  
ミライ社会の実験場

## 1. 便房の設備の仕様、配置等

- ・扉、鍵、手すり、洗浄ボタン、ペーパーホルダー等

## 2. その他の仕様

- ・手洗い、スタイリングコーナー、ファミリーコーナー

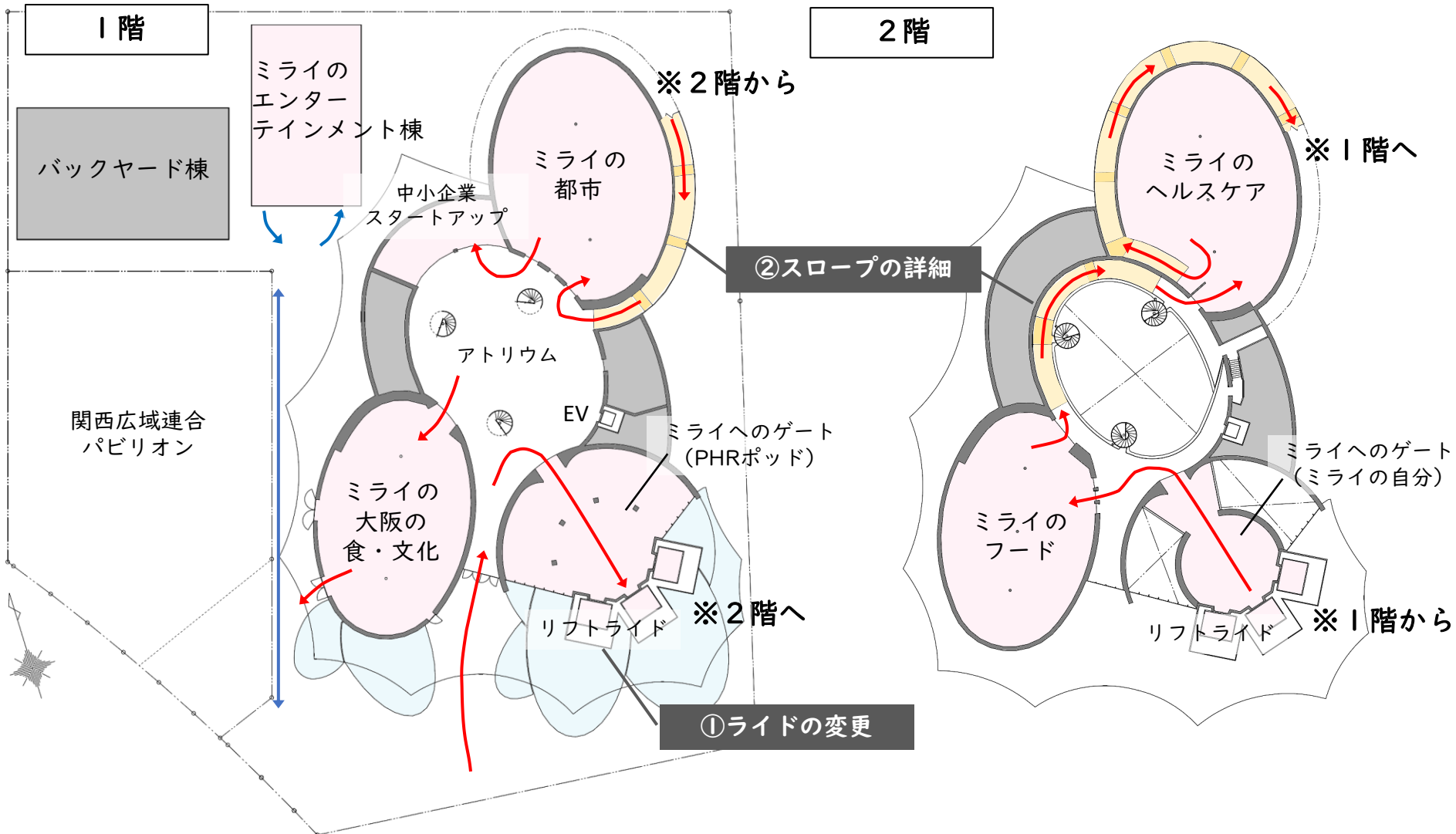
## 3. トイレ内の案内・誘導

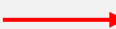





1. トイレプラン

**2. 館内の移動**

3. カームダウン・クールダウン

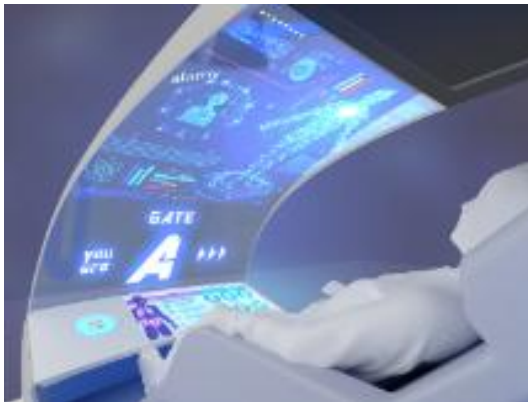
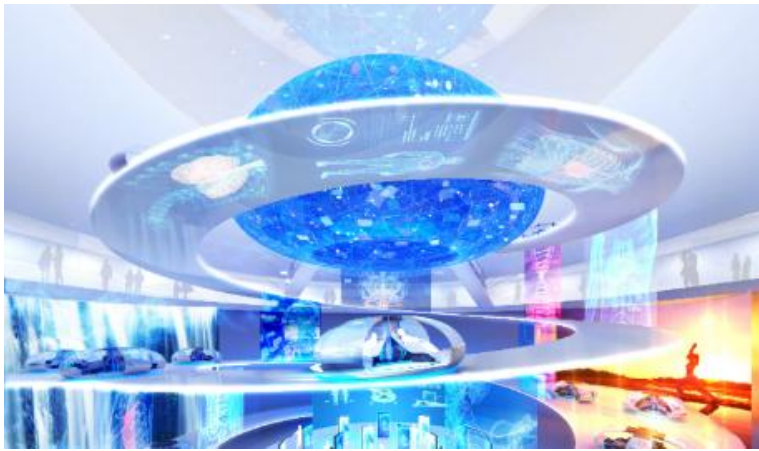
ルートの途中に階段・段差がなく全ての来館者が一緒に同じルートで体験ができる



	来館者動線 (本館)		展示エリア		スロープ (1/20)
	来館者動線 (エンタメ)		バックヤード		踊り場

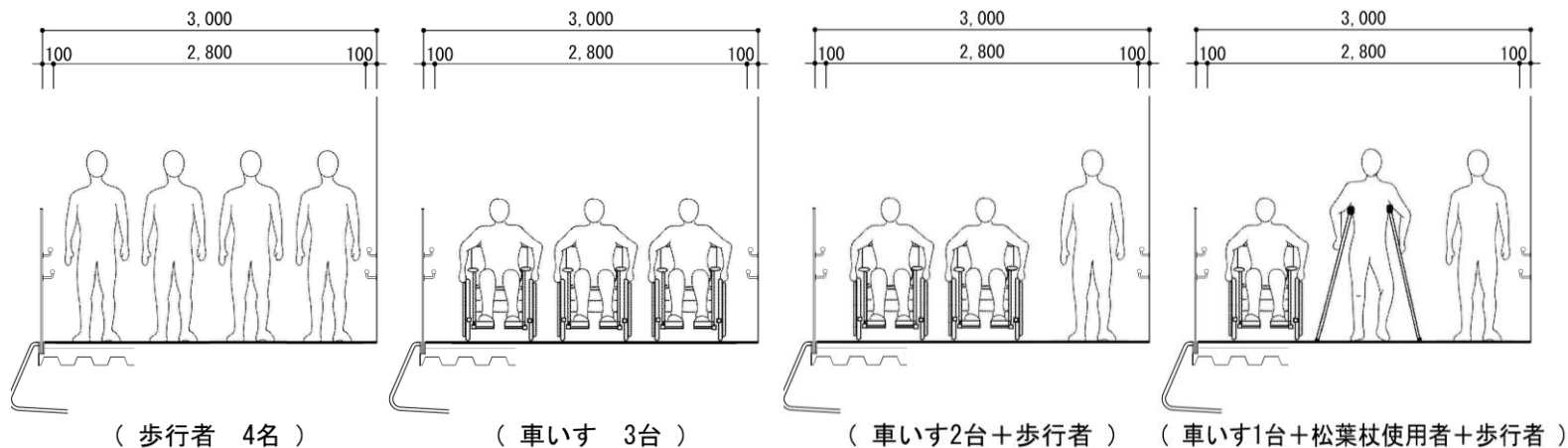
## ● 「カート型」から「リフト型」へ変更

- ・より“ワクワク”を感じてもらう
- ・すべての人が一緒に体験できる
- ・段差が生じないなど、乗降時など、より高い安全性が確保できる
- ・安定した運行（故障が少ない）



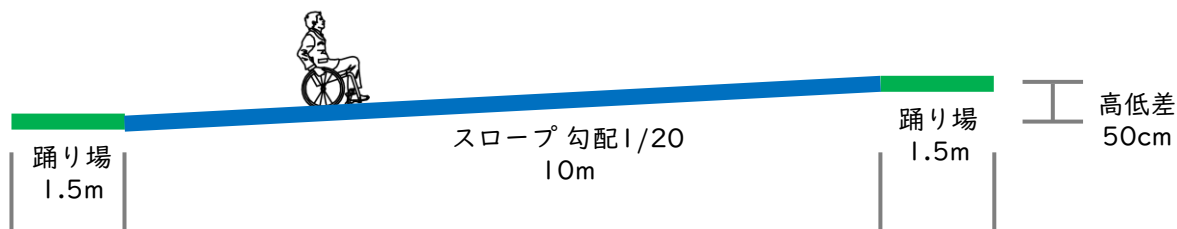
## ●スロープの幅員

- ・有効幅員=2,800mm (幅員3,000mm、両側手すりの出幅100mmずつ)



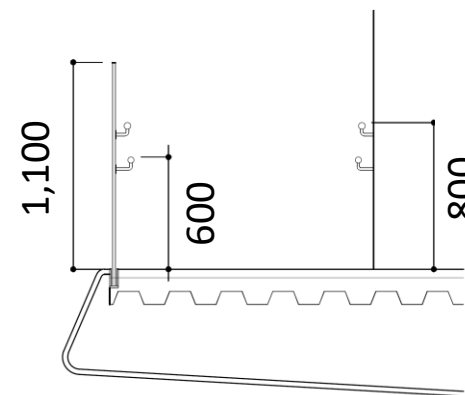
## ●スロープの勾配、踊り場

- ・勾配=1/20
- ・高低差500mm以内ごとに踏み幅1,500mm以上の踊り場

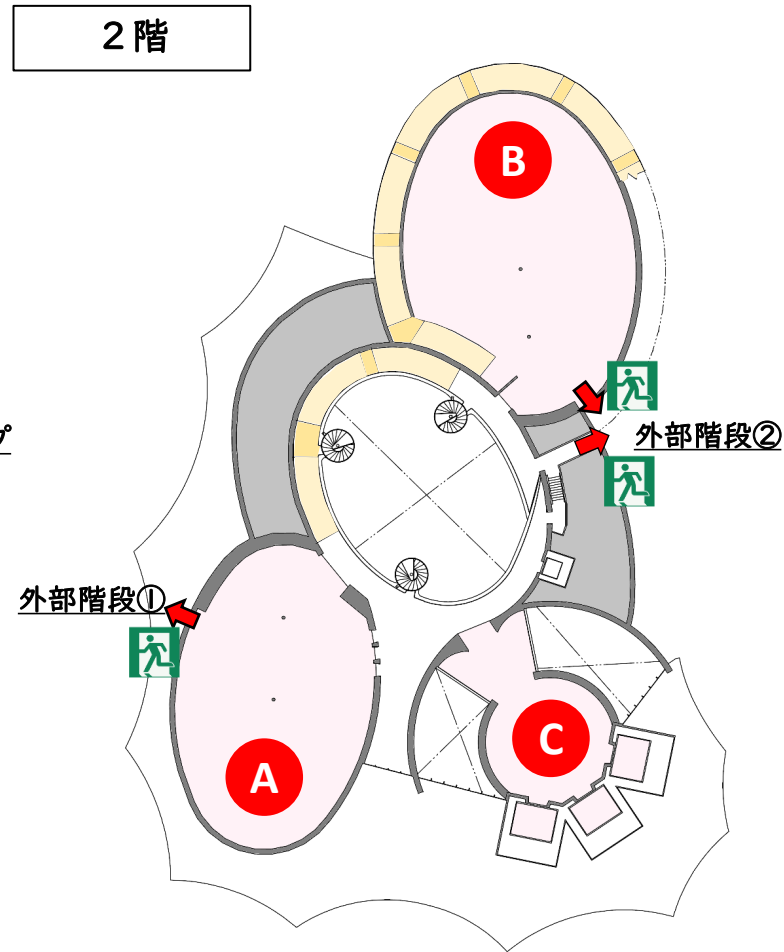
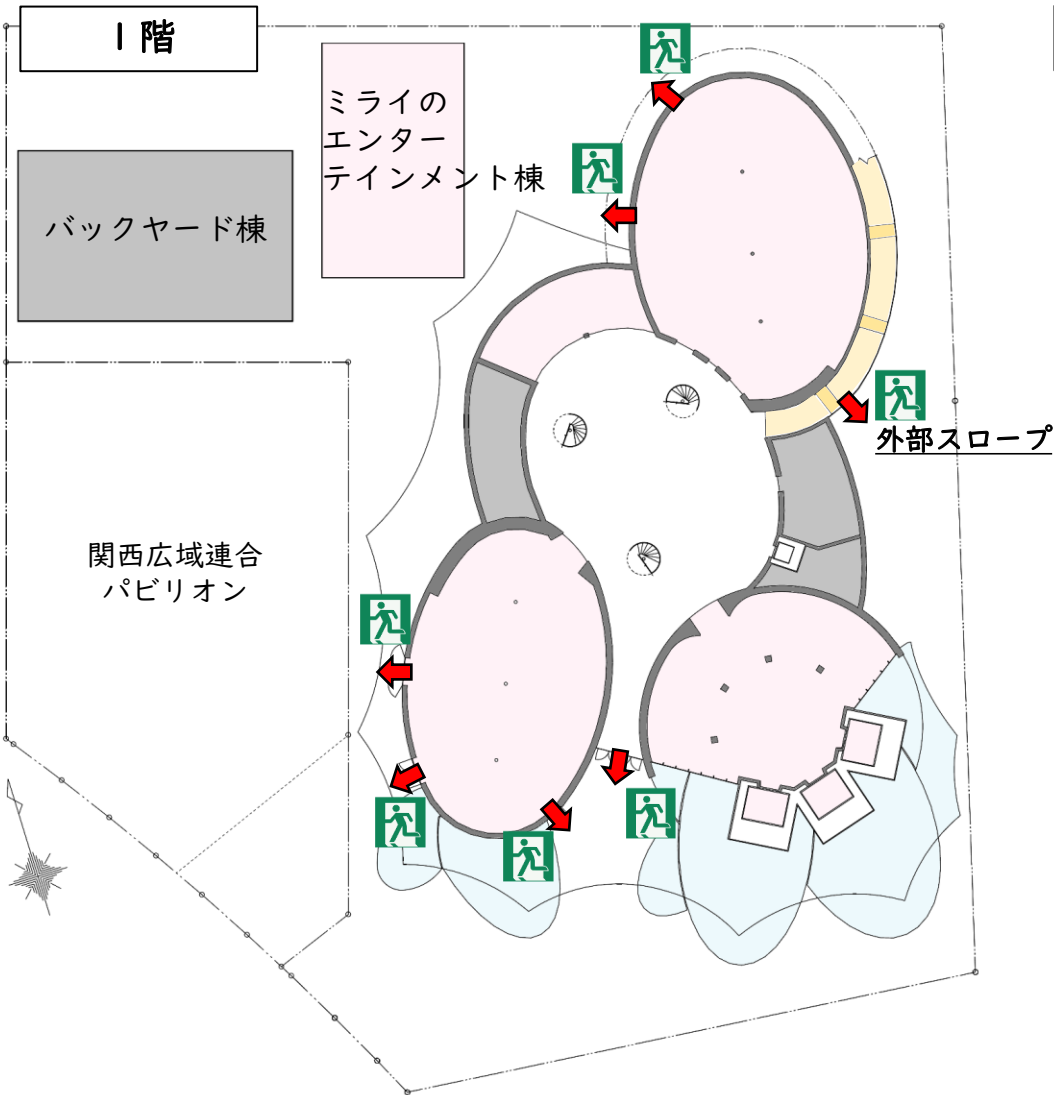


## ●手すり

- ・高さは600mmと800mmの二段



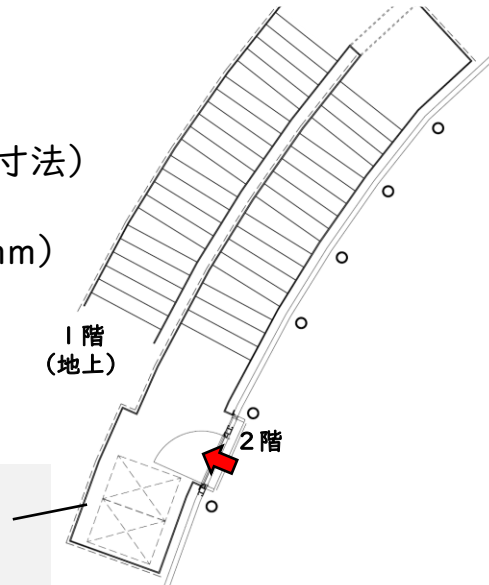
動画



## 外部階段①

- ・幅=1,410mm（有効寸法）
- ・両側手すり  
（h=600mm、800mm）

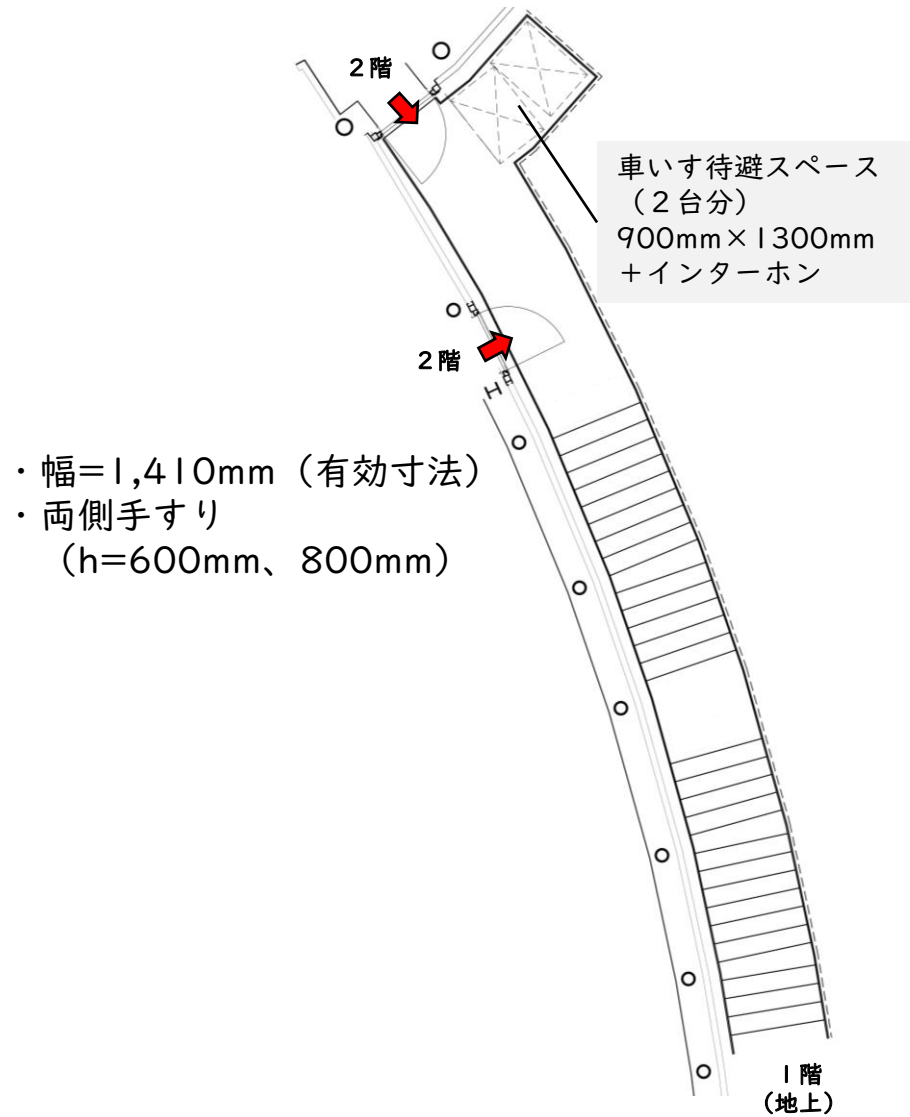
車いす待避スペース（2台分）  
900mm×1300mm  
+インターホン



## 外部階段②

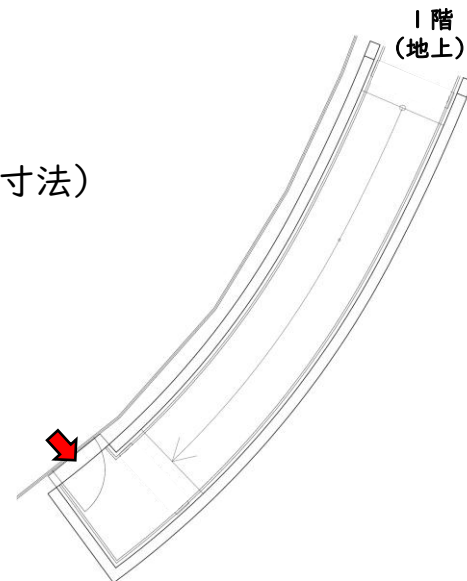
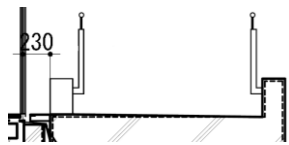
- ・幅=1,410mm（有効寸法）
- ・両側手すり  
（h=600mm、800mm）

車いす待避スペース  
（2台分）  
900mm×1300mm  
+インターホン

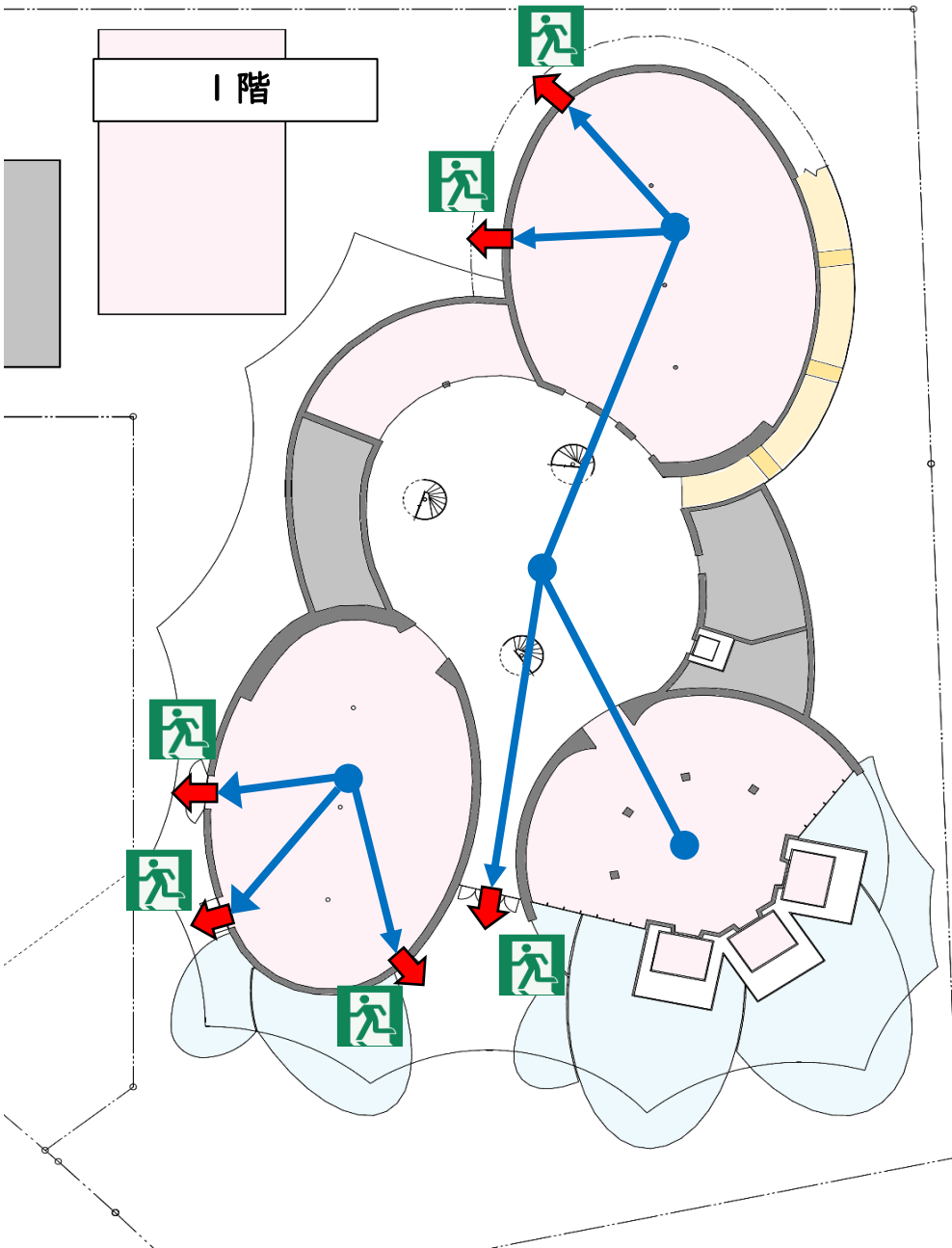


## 外部スロープ

- ・幅=1,410mm（有効寸法）
- ・両側手すり  
（h=800mm）



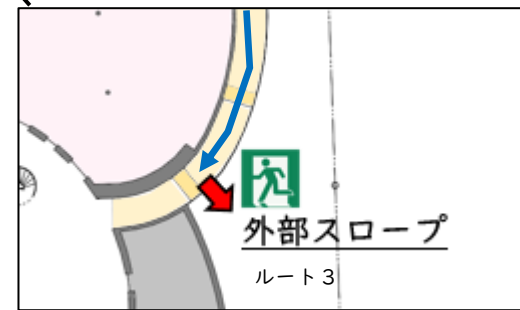
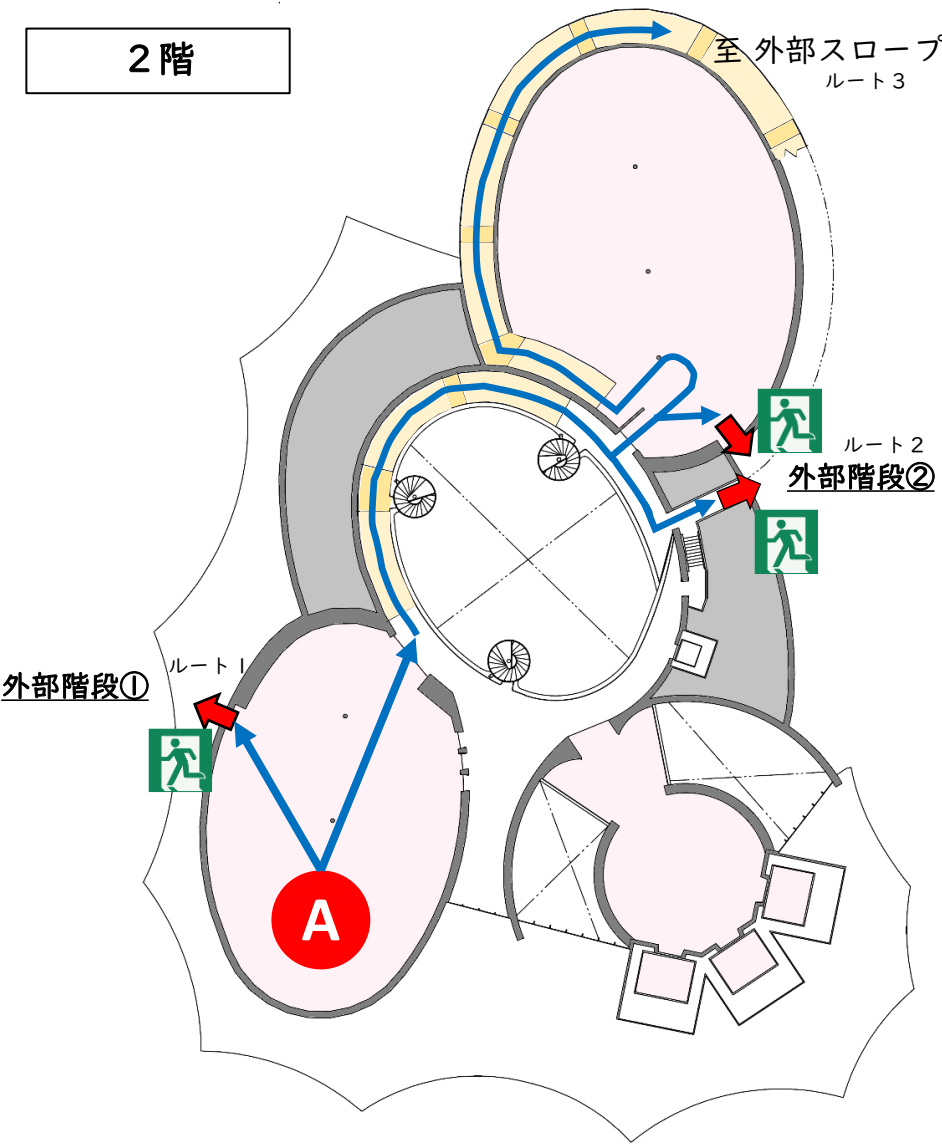
※火災など、非常時にのみ来館者が利用するもので、平常時は利用しません



## ● 1階での避難

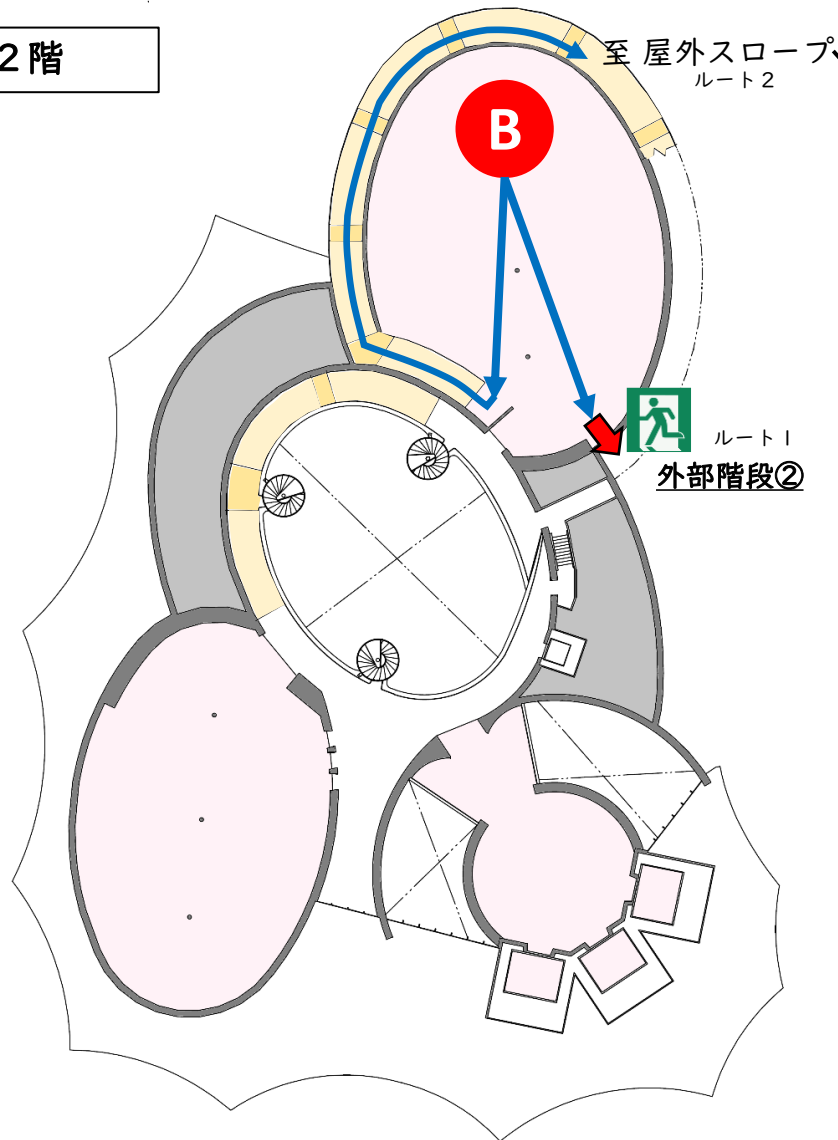
- ・外部への避難口が多数あるので、どこからでも2方向への避難が可能。

2階



- 2階 **A** からの避難について
  - ルート1. 外部階段①から地上へ  
(一時待避スペースあり)
  - ルート2. アトリウム回リスロープを通り、外部階段②を使って地上へ
  - ルート3. アトリウム回リスロープを通り、スロープ、屋外スロープで地上へ

2階



- 2階 **B** からの避難について  
ルート1. 外部階段②から地上へ  
(一時待避スペースあり)
- ルート2. スロープ、外部スロープで地上へ

2階

至屋外スロープ

この先は  
(2/4)のとおり

ルート2

外部階段②

外部スロープ  
ルート2

外部階段①  
ルート1

● 2階 **C** からの避難について

1. 外部階段①から地上へ  
(一時待避スペースあり)
2. アトリウム回リスロープを通り、  
外部階段②またはスロープで1階 (地上)

## ●火災発生時の安全確保のための設備

### 煙

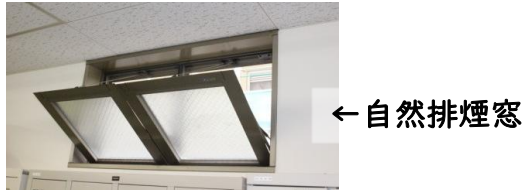
#### ①防煙区画

→火災時に発生した煙を建物全体に拡げないために、壁もしくは垂れ壁により区画します。



#### ②排煙設備

→火災時に発生した煙を建物外部に排出するために、煙が自然に排出される排煙口もしくは機械で強制的に煙を排出する装置を設置します。



### 火

#### ③消火設備

→館内各所に、火災時に自動的に作動するスプリンクラーを配置します。



## ●緊急時の避難誘導のための設備

#### ①非常放送

→音声により警報と避難誘導を建物全体に行う放送設備を設置します。

#### ②光警報装置

→トイレには、光の点滅で警報する装置を、各ブース等の個室に設置します。

#### ③緊急情報表示システム

→非常放送と連動して、火災情報やその他災害情報を表示する表示板をアトリウムに設置します。



#### ④避難口誘導灯

→避難口には、点滅機能および音声誘導機能を持った避難口誘導灯を設置します。



#### ⑤モニター付きインターホン

→外部階段の一時待避スペースに、防災センターと会話ができるモニター付きインターホンを設置します。

## ●大阪市消防局へのヒアリング 2022.12.26@大阪市消防局

（万博会場全体）

- ・消防車が会場内に設置される計画があり、消防隊の到達は早い。  
火災が発生すると、自動的に消防に通報されるシステムの導入が検討中。

（大阪パビリオン）

- ・安全確保については、自動的に消火が行われるスプリンクラー、発生した煙が拡がらないようにする防煙区画、煙を屋外に排出させる排煙設備が設けられるため、全体として、安全な計画になっていると思う。
- ・避難誘導については、非常放送や光警報装置の他、訓練を受けたスタッフが確認したり誘導することも重要。
- ・万が一火災が発生しても安全が確保される設備が整っているため、むしろゆっくり避難してもらうことを伝えること。
- ・スタッフの訓練については、消防局も協力する。

➡ 今後、消防局協力のもとスタッフ訓練などを十分に行い、万全を期す

- ・ 来館者の案内、誘導  
（触知図、サイン、視覚障がい者誘導用ブロック など）

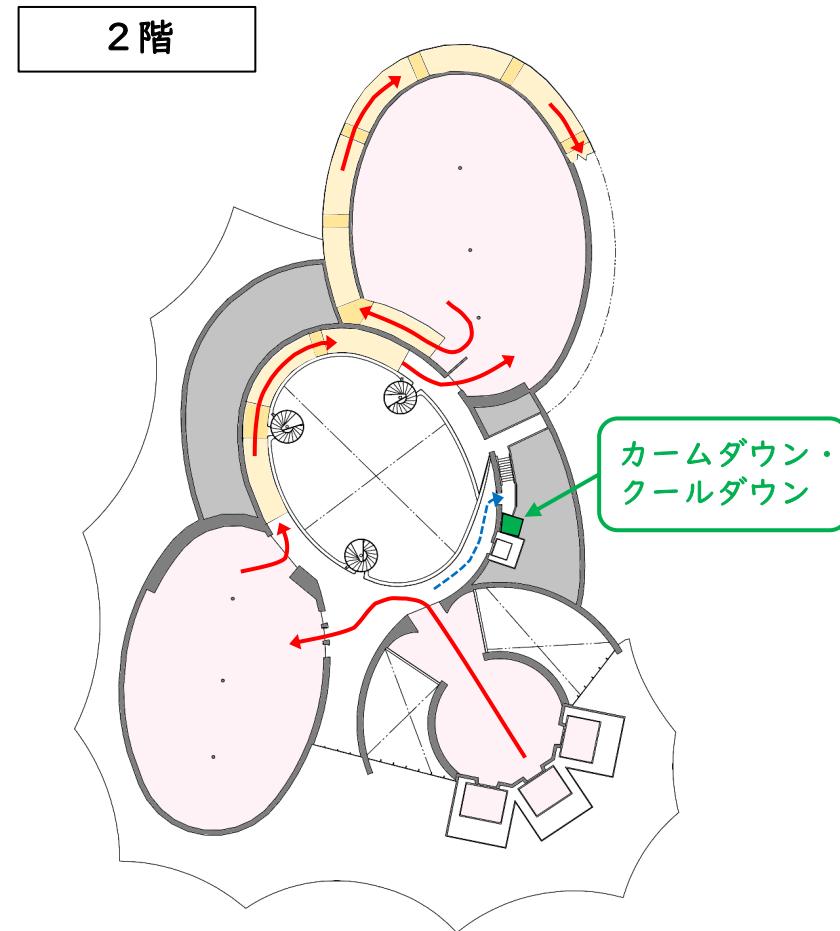
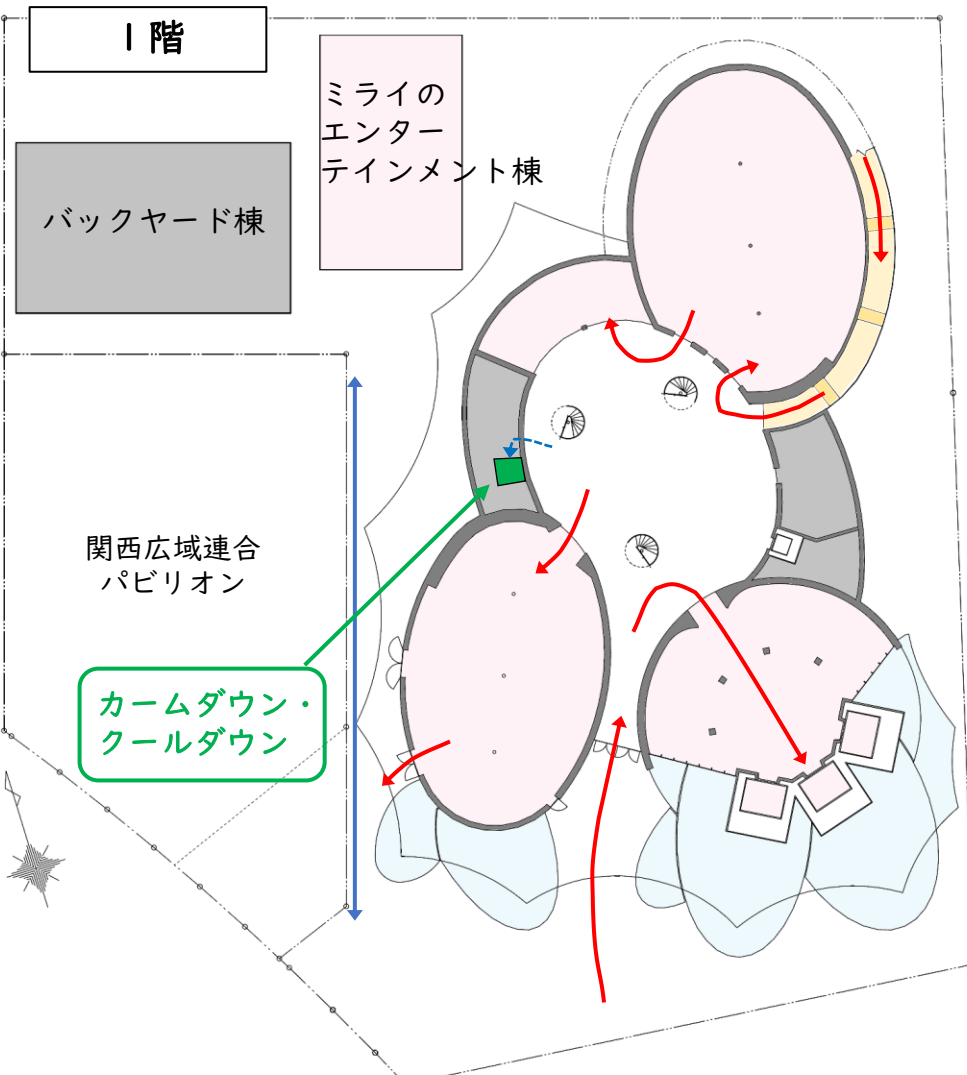
1. トイレプラン

2. 館内の移動

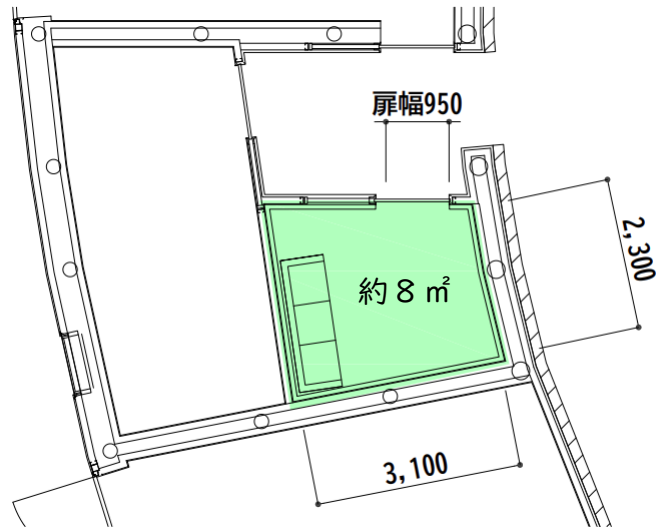
3. カームダウン・クールダウン

# カームダウン・クールダウン (配置)

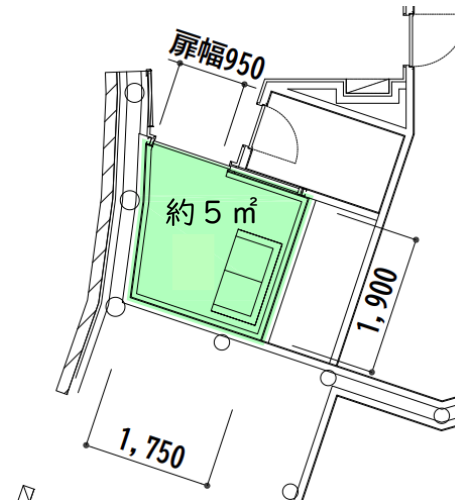
- 1階と2階のそれぞれに一か所個室を設置 (計2カ所)
  - ・ 2階 ライドを降りた後のライドホール横に設置
  - ・ 1階 人が滞留するアトリウムに面して設置



# カームダウン・クールダウン（詳細図）



1階  
カームダウン・クールダウン



2階  
カームダウン・クールダウン

## 内装等の設計の考え方（案）

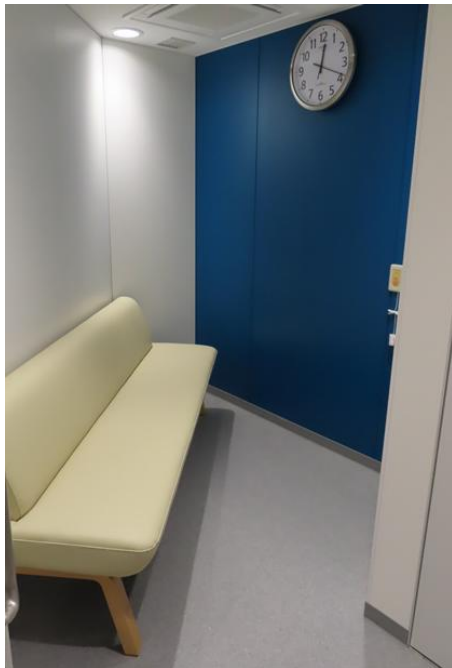
- ・ 遮光性、遮音性を確保
- ・ 床はカーペット、壁は保護マットを設置
- ・ 色調は気持ちを落ち着かせる白やベージュ系
- ・ 家具は落ち着いて座れるソファを配置し、同伴者も一緒に利用できる大きさ
- ・ 照明は照度調整、配光機能を備える
- ・ 呼び出しボタンの設置

# カームダウン・クールダウン（今後の予定）

今後の進め方 ➡ 別途、ワークショップを開催し、詳細を検討  
(検討項目)

- ・室内の色調はどのような感じにすると良いのか
- ・家具はどのようなものが良いのか
- ・内装材のサンプルの確認
- ・扉の有無や形状、鍵の有無 など

有明アリーナ



旭川空港



カーテンを閉めている状態



カーテンを開けている状態

新国立競技場



大阪ヘルスケアパビリオン  
ユニバーサルデザイン  
ワークショップ（第4回）  
意見まとめ  
（建築）

一般社団法人2025年日本国際博覧会大阪パビリオン  
展示・建築グループ

# 大阪ヘルスケアパビリオン ワークショップ 意見項目一覧

## トイレ

### コンセプト

#### コンセプト

- ・多様性を実現するトイレすばらしい
- ・LGBTQや特にトランスジェンダーの人にとってはとても使いやすい
- ・幅広い意見があった中でうまくまとまっていると感じた
- ・画期的。ワークショップを実施したからこそこの案
- ・いろいろ工夫されていておもしろい試みのあるトイレになるのではと期待している
- ・トイレを1つの展示としてかंगाえてみるものあり
- ・あえて違和感を引き出すと問題提起できるので新しい提案
- ・ミライ社会の実験場とあるように未来に可能性を見せることが大事
- ・家族できた人はみんな一緒に気兼ねなく入れるトイレになっている
- ・万博には他にもトイレがあるのでこんなトイレがあっても良い

### デザイン・レイアウト

#### トイレ内の壁のカーブ

- ・視覚障がい者は迷うので直線が良い
- ・視覚障がい者には方向が取りにくいのがトイレ内なので大丈夫と思う

#### 配置

- ・すっきりして見通しが良い
- ・真ん中のスペースが広いので車いすの小回りがしやすい

#### 便房数

- ・来館者が高齢者層とファミリー層どちらが多いかによって多い方を充実させるべき

#### ベンチ

- ・ベンチがあるので安心できる
- ・ベンチの設置はありがたい

### 並び方

- ・どこに並ぶかわかりにくい
- ・必要なものがどの便房にあるかで並び方が変わる
- ・並列で並ぶと入口の幅員が足りない
- ・男性専用と女性専用を分けたのに一緒に並ぶなら分けた意味がない

#### 表示・展示

- ・トランスジェンダーの方に制限を設けない、排除しない
- ・誰でも使えるトイレの宣伝。動画に副音声をつける、または音声のみでもわかるように
- ・ファミリーコーナーにパパが入ることを表示
- ・1つの展示として考えて大阪らしさを出してほしい
- ・見取図をパネルにして展示物にする

### 案内・誘導

#### 案内

- ・目的のトイレが空いたことがわかれば入りやすい
- ・どこが空いているか外国人が見てもわかるようにする
- ・目的のトイレにすんなり行ける工夫が必要
- ・男性専用、女性専用、オールジェンダーがあることを入口で案内
- ・目につくところにトイレコンセプトをわかりやすく表示
- ・混雑状況がわかるようトイレ前にデジタルサイネージを設置
- ・放送案内でこどもや車いすの方に譲り合いの声掛けしてと流す
- ・床下サイン、誘導表示。ファミリーコーナーへは中までほしい
- ・コンシェルジュがいれば良い
- ・男性小便器の前に警告ブロックが必要
- ・音声案内が必要。動画+音声も良い。駅のような固い案内に限らない

# 大阪ヘルスケアパビリオン ワークショップ 意見項目一覧

## トイレ

### 各エリア・設備

#### 一般便房

- ・広めなのでこどもを抱えても入れる
- ・奥行きがあるので扉の幅や手摺の位置を工夫すれば車いす利用者も利用できる。
- ・ちょっと広めで荷物が置けるくらいが良い

#### 大型トイレ

- ・ベッドは1つでも賄えるのでは。その分小さい車いす便房を増やせる
- ・ベッドや車いす用トイレを使用する人は時間がかかるので数が必要
- ・バギー利用者も子供の着替えなど広めのトイレでベッドを利用することがあるので2つ必要
- ・ベッドや便器などの配置が左右対称になっているので2つ設置する意味はある
- ・扉を開けてすぐ前にベッドがあるので位置は工夫が必要

#### 手洗い場

- ・男女専用トイレに手洗いがなく、手洗いまで遠い
- ・視覚障がい者が男女専用トイレからメイン通路を横切って手洗いに行くにはハードルが高い
- ・ペットボトルに水を入れるところがあればありがたい

#### スタイリングコーナー

- ・何に使うのかわからない。設置する意図を教えてください

#### ファミリーコーナー

- ・多目的トイレの機能が全て揃っていないので結局大型トイレの方が便利とならないか
- ・海外では同性婚で子供連れの人もいるのでいろんな人が使いやすい雰囲気にしてほしい
- ・性別関係なく誰でも入れることが前提
- ・車いす利用者が使用できるように扉の幅を検討
- ・もう1つ出入口があればスムーズに利用できる
- ・ベビーチェアは必要
- ・授乳が気兼ねなくできるとわかるようトイレ前に地図や案内が必要

#### 男女専用トイレ

- ・トランスジェンダーに制限を設けない、排除しない
- ・男性小便器と女性専用が同じ数だが女性専用を増やしても良い
- ・視覚障がい者は女性専用から手洗いに行く途中、男性専用に間違えて入ってしまいそう。男女逆にしても良い
- ・男女個室にもサニタリーボックスが必要

### その他

#### 安全対策

- ・盗撮防止は必要

# 大阪ヘルスケアパビリオン ワークショップ 意見項目一覧

## 移動・避難

### 移動

#### ライド

- ・カート型からリフト型に変更してすぐ行ってみたいと思った
- ・車いす使用者が全面見られるよう回転できるスペースを確保してほしい
- ・誰でも安全に乗れるのか心配だったがリフト型に変更と聞いて安心した

#### 案内・誘導

- ・事前情報、わかりやすい情報、取捨選択しやすい情報での情報提供
- ・スロープ勾配1/20なので途中で警告ブロックがあると段差があると勘違いする
- ・触地案内板は難しいのであまり触らない

#### その他

- ・手摺りの握りやすさはいろいろ意見があるので検討が必要
- ・事前に触地図や配布物で確認できれば良い
- ・床面が白いと夏は眩しい
- ・アトリウム夏の暑さが気になる
- ・ホームページはユニバーサルにしてほしい
- ・事前情報はデジタルだけではなく紙のパンフレットも必要
- ・動画による説明がわかりやすい

### 避難

#### 避難経路

- ・車いすやベビーカーはスロープでしか避難できないので避難経路が1つになる。別の避難できる仕組みがほしい
- ・退避場所からはしご車で直接救出できるのか
- ・避難する方向をわかりやすく伝えてほしい
- ・非常階段の幅が広ければ複数人で車いすの方を担ぎ降ろす
- ・避難口誘導灯は車いすでも避難できるというピクトサインがあれば安心

#### その他

- ・触地図を触るとわかるが、実際行ってみると自分がどこを歩いているかわからないので床材に変化をつけてほしい
- ・消防局の協力について、当事者を巻き込んだものにできるよう検討に入れてほしい
- ・誘導は拡声器だけでなくジェスチャーや情報を記したプレートなどを併用すると良い
- ・障がいによっては、避難放送がわからない。気が付かない人がいれば声かけするよう館内放送してほしい
- ・開会前に当事者を交えて避難訓練したい

#### 一時退避スペース

- ・車いす2台分を確保しているがベビーカーのことを考えると2台分で足りるのか
- ・会話ができるモニター付きインターホンは一時退避スペースのみの設置で良いのか。他の場所にも必要ではないか
- ・屋外階段1は扉が開いた左側にスペースがあるのでうまく退避スペースに行けるのかわからない
- ・煙がまわってこないか

#### 設備

- ・一時避難場所のインターホンで話してから救助者がどれくらい来てもらえるのか
- ・言語バリアの人はQRコードで緊急連絡先のオペレーターとやりとりできるという
- ・停電時に備えて蛍光のシールで真っ暗になっても誘導経路がわかるようにする
- ・指向性のスピーカーはどう組み込まれるのか
- ・緊急の文字表示の3か所はどこに設置されるのか
- ・光警報装置は展示室ごとに設置されるのか
- ・光警報装置の視認性を体験や動画で確認したい
- ・緊急情報表示システムに適切な避難ルート等の情報は表示されるのか
- ・モニター付きインターホンで、聴覚障がい者にどう対応するのか。
- ・緊急情報表示システムは通常何を表示しているのか。外国人にもわかりやすいイラスト、やさしい英語、日本語などを表示できるのか。
- ・停電に対する備えはどうか。避難口誘導灯は停電時も点灯するのか

## カームダウン・クールダウン

### 部屋

- ・小さい方は車いすが2台入れるのか
- ・精神疾患、発達障がい、知的障がい者で車いす利用者も多いので車いすでスムーズに入れる形にしてほしい

### 家具

- ・折りたためる等、スペースを確保できるものが良い

### その他

- ・万博で多様なニーズに対応するものを作って好事例を見せる
- ・救護室の存在はありがたい
- ・医療器具が体内に入っている方がいる。強い磁気が発生するところがあるか心配

## 2023年1月30日 大阪パビリオン UDワークショップ資料

資料は、1種類です。

- ・大阪ヘルスケアパビリオン ユニバーサルデザイン・ワークショップ（建築）

公表前の情報が多くありますので、取り扱いにはご注意ください。

（パワーポイント資料 2ページ目）

これまでの経過

- ・昨年3月からの経過を表で示しています。
- ・建築のトイレ、移動、カームダウン・クールダウンについては、昨年3月にヒアリングを行い、6月に状況報告しています。トイレについては8月にみんなでトイレプラン作成にチャレンジしました。
- ・展示や運営計画、案内誘導については、昨年6月に方向性をお伝えしています。

（パワーポイント資料 3ページ目）

目次

1. トイレプラン
2. 館内の移動
3. カームダウン・クールダウン

（パワーポイント資料 4ページ目）

タイトル

- ・1. トイレプラン

（パワーポイント資料 5ページ目）

昨年8月29日のみんなでトイレプラン作成チャレンジ

- ・以下のテーマとコンセプトに沿って、メンバーが3班に分かれ、トイレプランを福笑い方式で作成し、発表
- ・トイレのテーマは、誰もが使いやすい、ミライのトイレ
- ・トイレのコンセプトは、3つ
  - 1 トイレの既成概念を変えるチャレンジングで心に響くトイレ
  - 2 みんなが自然に使える壁・境界やバリアのないトイレ
  - 3 人の気持ちに寄り添った案内と設備を設けたストレスフリーなトイレ

(パワーポイント資料 6 ページ目)

8月29日のA班のプラン案

- ・プランの概要
- ・介護、介助、性的少数者などのことを配慮したオールジェンダートイレ
- ・全部個室で小便器なし（視覚障がい者もどこに入ってもOKとなる）

(パワーポイント資料 7 ページ目)

8月29日のB班のプラン案

- ・プラン概要
- ・男女共用エリアと男女別エリアで構成。手洗いとキッズ関係は中央に配置。
- ・小便器は効率化のため設置。女性や宗教的な問題でオールジェンダーに抵抗がある人もいる。

(パワーポイント資料 8 ページ目)

8月29日のC班のプラン案

- ・プラン概要
- ・男女共用エリアと男女別エリアで構成。入口近くに男女共用、奥に男女別を配置。
- ・オールジェンダーはまだ抵抗がある人が多いので、男女別も残した方が。

(パワーポイント資料 9 ページ目)

大阪ヘルスケアパビリオンのトイレの方向性案

- ・みんなで作成したプランから浮かび上がるコトは、
  1. 少数派も使いやすいように、ジェンダーフリーや機能分散の視点は欠かせない
  2. 多数派である健常者に対して、これまでの生活経験から、男女別トイレや男性小便器の確保が必要との意識を持っている人が多い
  3. 快適に利用するためには、要配慮者対応も含め多様なニーズがある

これらを受けて、大阪ヘルスケアパビリオンのトイレの方向性は、

- ・ノーマライゼーションを実現するトイレの提案  
マジョリティ（多数派）とマイノリティ（少数派）の意識を無くす

(パワーポイント資料 10 ページ目)

大阪ヘルスケアパビリオンのトイレプラン案

(当日、立体コピーを用意しています。)

図面は、下側がアトリウムで、アトリウムからの入り口手前に、中が見えないように衝立が

設けられています。トイレに入ると、正面にトイレブースが並んでいます。これは男女分けることなく使えるジェンダーフリーのトイレです。そのトイレは、一番右から二つ、車いすトイレがあり、その左隣に二つ、1,500 ミリの円が内接できる大き目トイレ、さらに左に4つ個室ブースを並べています。

また、トイレの左下には一部、男女それぞれの専用トイレを設けており、どうしても、という方は、ここを使用することができます。

トイレの右側にはお子様連れが利用できるファミリーコーナーを設け、おむつ替えやキッズトイレ、授乳室や調乳などに使える給湯器、流し、一息ついたり、お父さんがミルクをあげる時に使えるベンチも置けるような計画になっています。

トイレの入り口から入ってすぐ右横には、誰でも使えるスタイリングコーナーも設置しています。

(パワーポイント資料 11 ページ目)

トイレに関する今後の検討項目

1. 便房の設備の仕様、配置等 (扉、鍵、手すり、洗浄ボタン、ペーパーホルダー等)
2. その他の仕様 (手洗い、スタイリングコーナー、ファミリーコーナー)
3. トイレ内の案内・誘導

(パワーポイント資料 12 ページ目)

タイトル

- ・ 2. 館内の移動

(パワーポイント資料 13 ページ目)

来館者の移動経路

1階と2階の平面図で、来館者の移動経路を示しています。

ルートの途中に階段・段差がなく全ての来館者が一緒に同じルートで体験ができる。

(パワーポイント資料 14 ページ目)

ライドの変更

以下の理由で、カート型からリフト型に変更しています。

- ・ より“ワクワク”を感じてもらう
- ・ すべての人が一緒に体験できる
- ・ 段差が生じないなど、乗降時など、より高い安全性が確保できる
- ・ 安定した運行 (故障が少ない)

(パワーポイント資料 15 ページ目)

#### スロープの詳細

- ・上半分にスロープの断面図が複数
- ・有効幅員は 2800 ミリ。断面図は歩行者が 4 人並んだもの、車いすが 3 台並んだもの、車いす 2 台と歩行者が 1 人並んだもの、車いす 1 台、松葉づえ使用者 1 人、歩行者 1 人が並んだものの 4 種類。
- ・左下はスロープの勾配、踊り場を示すスロープ縦断図
- ・スロープの勾配は 20 分の 1。高低差 500 ミリ以内ごとに踏み幅 1500 ミリ以上の踊り場を設置
- ・右下は手すりの詳細図。スロープの手すりは高さ 600 ミリと 800 ミリの二段手すり。

(パワーポイント資料 16 ページ目)

#### 来館者の避難計画

1 階と 2 階の平面図で、避難口の位置が示されています。

1 階は、7 か所の避難口の位置を、2 階は接続している外部階段 2 か所の位置を示しています。

(パワーポイント資料 17 ページ目)

#### 来館者の避難計画の詳細

- ・外部階段 1 は、幅の有効寸法が 1410 ミリ、両側に手すりがあります。また、2 階から外部階段に出てすぐのところに車いす 2 台分の一時待避スペースがあり、インターホンが設置されます。
- ・外部階段②は、幅の有効寸法が 1410 ミリ、両側に手すりがあります。また、2 階から外部階段に出てすぐのところに車いす 2 台分の一時待避スペースがあり、インターホンが設置されます。
- ・外部スロープは幅 1410 ミリの有効寸法で、両側に高さ 800 ミリの手すりがあります。
- ・これらは、火災などの非常時にのみ来館者が利用するもので、平常時は利用しません。

(パワーポイント資料 18 ページ目)

#### 来館者の避難パターン 4 つのうちの 1 つ目

- ・1 階での避難は、外部への避難口が多数あるので、どこからでも 2 方向への避難が可能。

(パワーポイント資料 19 ページ目)

#### 来館者の避難パターン 4 つのうちの 2 つ目

- ・2 階のミライのフードからの避難は、以下の 3 つのルート
- ・ルート 1 は、外部階段 1 から地上へ降りるルート。一時待避スペースあり。

・ルート2は、アトリウム周りのスロープを通り、外部階段2を使って地上へ降りるルート。

・ルート3は、アトリウム周りのスロープを通り、スロープ、屋外スロープで地上へ降りるルート。

(パワーポイント資料 20 ページ目)

来館者の避難パターン 4つのうちの3つ目

・2階のミライのヘルスケアからの避難は、以下の2つのルート

・ルート1は、外部階段2から地上へ降りるルート。一時待避スペースあり。

・ルート2は、ミライのヘルスケアの周りのスロープを通り、外部スロープで地上へ降りるルート。

(パワーポイント資料 21 ページ目)

来館者の避難パターン 4つのうちの4つ目

・2階のライドホールからの避難は、以下の2つのルート

・ルート1は、外部階段1から地上へ降りるルート。一時待避スペースあり。

・ルート2は、アトリウムの周りのスロープを通り、外部階段又はミライのヘルスケア周りのスロープで地上へ降りるルート。

(パワーポイント資料 22 ページ目)

来館者の避難計画のうち、安全のための設備を列挙しています。

・火災発生時の安全確保のための設備は以下の3つ。

1. 防煙区画 火災時に発生した煙を建物全体に拡げないために、壁もしくは垂れ壁により区画します。

2. 排煙設備 火災時に発生した煙を建物外部に排出するために、煙が自然に排出される排煙口もしくは機械で強制的に煙を排出する装置を設置します。

3. 消火設備 館内各所に、火災時に自動的に作動するスプリンクラーを配置します。

・また、緊急時の避難誘導のための設備は以下の5つ。

1. 非常放送 音声により警報と避難誘導を建物全体に行う放送設備を設置します。

2. 光警報装置 トイレには、光の点滅で警報する装置を、各ブース等の個室内に設置します。

3. 緊急情報表示システム 非常放送と連動して、火災情報やその他災害情報を表示する表示板をアトリウムに設置します。

4. 避難口誘導灯 避難口には、点滅機能および音声誘導機能を持った避難口誘導灯を設置します。

5. モニター付きインターホン 外部階段の一時待避スペースに、防災センターと会話ができる

きるモニター付きインターホンを設置します。

(パワーポイント資料 23 ページ目)

大阪市消防局へのヒアリング

・万博会場全体については、以下の2点。

1. 消防車が会場内に設置される計画があり、消防隊の到達は早い。
2. 火災が発生すると、自動的に消防に通報されるシステムの導入が検討中。

・大阪パビリオンの計画については、以下の5点。

1. 安全確保については、自動的に消火が行われるスプリンクラー、発生した煙が拡がらないようにする防煙区画、煙を屋外に排出させる排煙設備が設けられるため、全体として、安全な計画になっていると思う。

2. 避難誘導については、非常放送や光警報装置の他、訓練を受けたスタッフが確認したり誘導することも重要。

3. 万が一火災が発生しても安全が確保される設備が整っているため、むしろゆっくり避難してもらうことを伝えること。

4. スタッフの訓練については、消防局も協力する。

・今後、消防局協力のもとで、スタッフの訓練などを十分に行い、万全を期します。

(パワーポイント資料 24 ページ目)

移動に関する今後の検討項目

1. 触知図、サイン、視覚障がい者誘導用ブロックなどの、来館者の案内、誘導に関すること。

(パワーポイント資料 25 ページ目)

タイトル

・3. カームダウン・クールダウン

(パワーポイント資料 26 ページ目)

カームダウン・クールダウンの配置

- ・1階と2階の平面図でカームダウン・クールダウンの部屋の位置を示しています。
- ・1階と2階のそれぞれに一か所個室を設置しています。
- ・2階は、ライドを降りた後のライドホール横に設置。
- ・1階は、人が滞留するアトリウムに面して設置。

(パワーポイント資料 27 ページ目)

カームダウン・クールダウンの詳細図

- ・1階と2階のカームダウン・クールダウンの部屋の詳細図をそれぞれ示しています。
- ・1階は扉幅が950ミリ、部屋の大きさは約8㎡で、中に3人掛けのソファが描かれています。
- ・2階は扉幅が950ミリ、部屋の大きさは約5㎡で、中に2人掛けのソファが描かれています。

内装等の設計の考え方が6点書いてあります。

1. 遮光性、遮音性を確保
2. 床はカーペット、壁は保護マットを設置
3. 色調は気持ちを落ち着かせる白やベージュ系
4. 家具は落ち着いて座れるソファを配置し、同伴者も一緒に利用できる大きさ
5. 照明は照度調整、配光機能を備える
6. 呼び出しボタンの設置

(パワーポイント資料 28ページ目)

カームダウン・クールダウンの今後の予定

- ・今後の進め方は、別途ワークショップを開催して詳細を検討していきます。
- ・検討項目として、以下の4つを挙げています。

1. 室内の色調はどのような感じにすると良いのか
2. 家具はどのようなものが良いのか
3. 内装材のサンプルの確認
4. 扉の有無や形状、鍵の有無 など

資料は以上です。